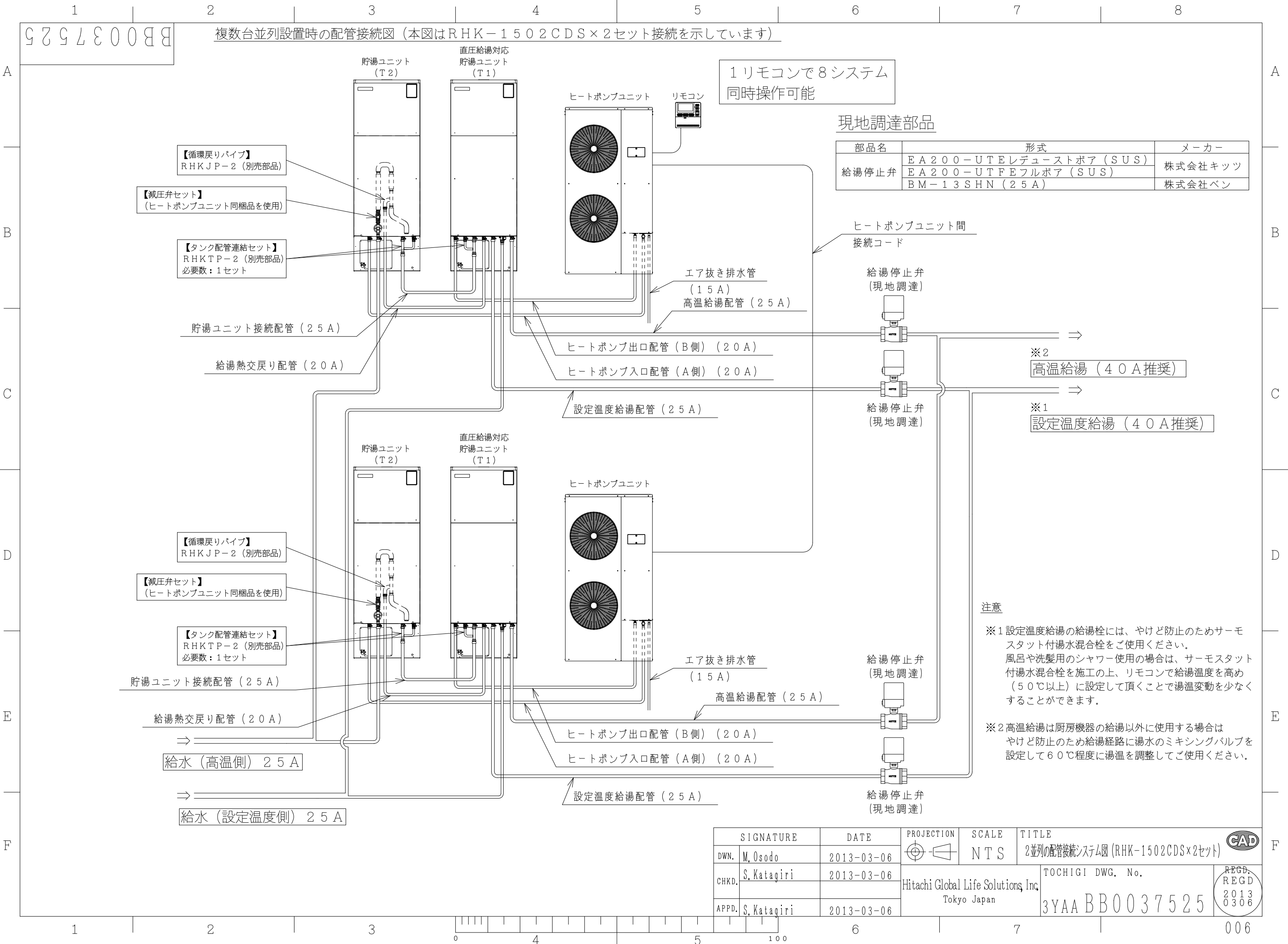
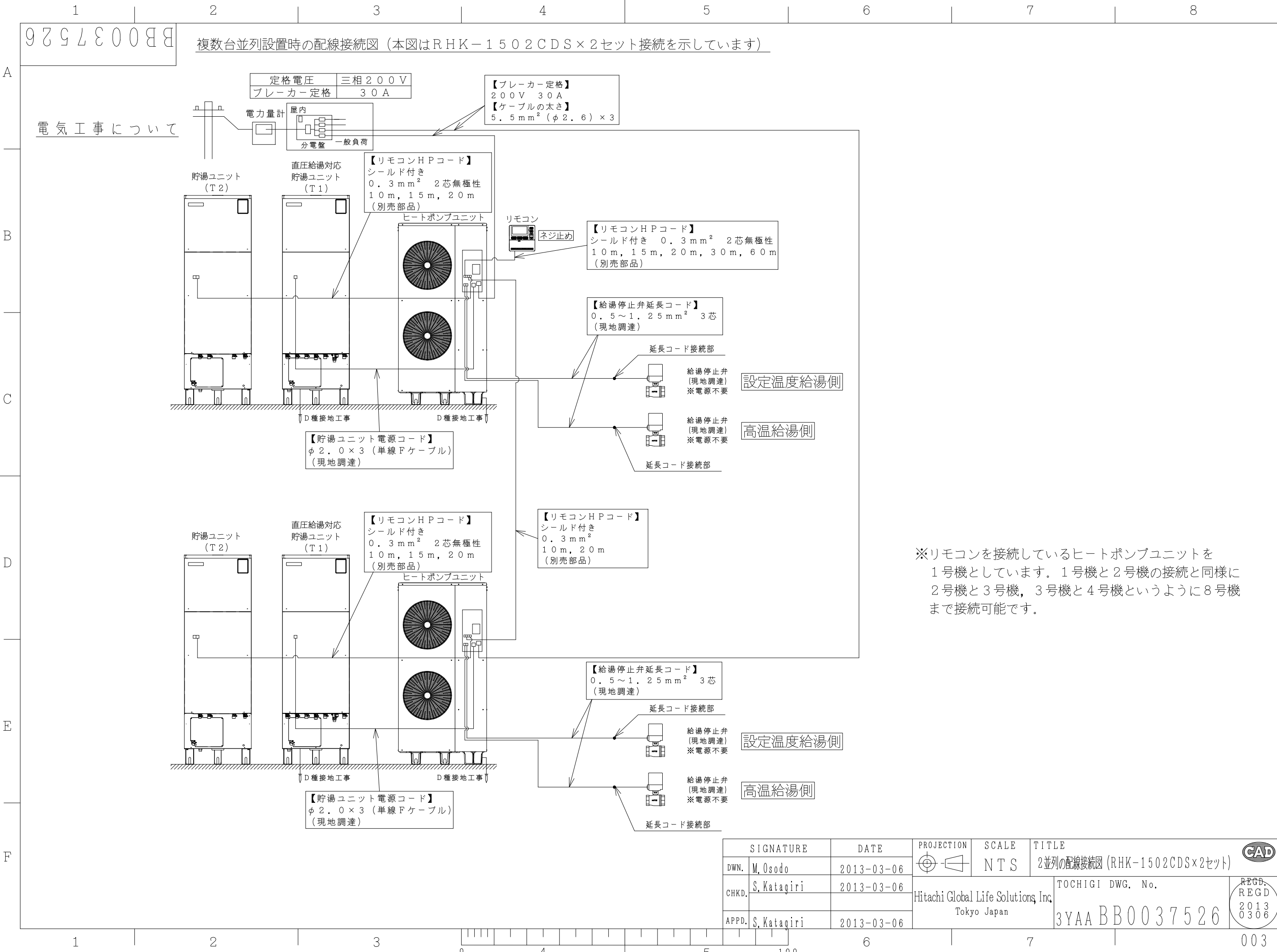






786780088
BB0037934

井水対応時（膨張タンク）設置施工図

井水対応には下記対応が必要です。

- 膨張タンクを必ず取り付けてください。
- （推奨品 日立金属製 ST-60V（封入圧100kPaと指定してください。））
- 減圧弁は85kPa仕様品（別売部品 RHKGA85-2）を取り付けてください。
- 使用する水は飲料水の基準に適合し、下記の水質基準範囲内でご使用ください。

水素イオン濃度（25℃）	5.8～8.6pH	シリカ SiO ₂	50mg/L以下
電気伝導率（25℃）	700μs/cm以下	イオウイオン S ²⁻	検出されないこと
塩化物イオン Cl ⁻	100mg/L以下	アンモニウムイオン NH ₄ ⁺	検出されないこと
硫酸イオン SO ₄ ²⁻	50mg/L以下	鉄 Fe	0.3mg/L以下
Mアルカリ度pH4.8（酸消費量）	75mg/L以下	銅 Cu	1.0mg/L以下
総硬度 CaCO ₃	200mg/L以下	残留塩素 Cl	1.0mg/L以下
カルシウム硬度 CaCO ₃	150mg/L以下	遊離炭酸 CO ₂	30mg/L以下

ヒートポンプユニットと膨張タンクおよび貯湯ユニット間の据付制約

膨張タンク施工時の注意点

警告

- 施工時 膨張タンクへの配管接続は、膨張タンク接続口に必ず接続する。膨張タンク接続口以外への接続は絶対に行わない。膨張タンク接続口以外を緩めたりすると部品が飛散し、重傷を負う恐れがあります。
- 使用時 膨張タンク使用時は、接続配管を緩めない。緩めると部品が飛散したり温水が吹き出し、重傷を負う恐れがあります。また、タンクの水は、飲用に使用できません。

注意

- 施工時 膨張タンクは基礎、架台等へ確実に固定する。また、転倒防止のため、アンカーボルト等にて確実に固定する。（耐震1.0G以上の要求の場合は上部固定が必要となります。）吊り下げて設置する場合は固定金具等で固定する。膨張タンクが転倒し、部品が飛散したり温水が吹き出し、重傷を負う恐れがあります。
- 膨張タンクは、屋内設置仕様です。屋外に設置する場合には、屋外塗装仕様品を指定するか、あるいは防水（雨じまい）防錆等の処置を必ず行う。腐食等により、温水が吹き出し、重傷を負う恐れがあります。
- 膨張タンクの「空気圧調整弁」の周囲は、600mm以上の空間を必ず取る。また、タンク上部には配管およびダクト類を通さない。膨張タンクの整備、取替えができません。

正面設置スペース

平面設置スペース

- システム配管の水圧試験時には、「メンテナンスバルブ」を閉じて膨張タンクへ圧力をかけない。膨張タンクにシステム配管の水圧試験圧力がかかった場合、ダイヤフラムが破損する可能性があります。
- 膨張タンクおよび接続配管が、凍結する恐れのある場合は必ず保温工事を行う。膨張タンクを保温する場合は、空気圧調整弁、銘板またはシールが点検時に外部より点検できる様に施工してください。凍結した場合、配管が破損する恐れがあります。（タンクの保温は16K以上のグラスウール+ラッキングとしてください。）接続配管には、タンク接続口まで配管ヒータを取り付けるなどの処理をしてください。
- 施工時には、配管の接続を間違わない。誤った箇所へ接続されますと製品が機能しません。
- 膨張タンクへの配管接続は、「フレキシブルジョイント」「メンテナンス用バルブ」「水抜き用バルブ」を必ず取り付ける。

●使用時 1年以内ごとに1回の定期点検を必ず行ってください。

SIGNATURE	DATE	PROJECTION	SCALE	TITLE
DWN. M. Osodo	2013-03-27		NTS	RHK-1502CDS 井水対応時設置施工図
CHKD. S. Katagiri	2013-03-27			
APPD. S. Katagiri	2013-03-27			
		Hitachi Global Life Solutions Inc. Tokyo Japan		TOCHIGI DWG. No. 3YAA BB0037934

REGD. REGD 2013 0327

003